

- ・多発性硬化症
- ・重症筋無力症
- ・パーキンソン病
- ・めまい：眼を閉じたり，暗闇で悪化します．前方へ倒れるような感じや，首筋の凝り，吐き気などを伴うことがあります．

#### ■消化器系

- ・便秘：排便しようという感覚が麻痺しています．高齢者や新生児，妊娠中の女性に多い便秘です．
- ・食欲の異常，異嗜：食べ物ではない物を食べようとします．また，食べ物でもじゃがいものようなデンプン質のものは，うまく消化することができません．

#### ■皮膚

- ・皮膚の乾燥化と苔蘚化

#### ■眼

- ・ドライアイ
- ・眼瞼下垂

このレメディは，高齢者，虚弱な未熟児にはとくに有用です．

#### MODALITY

- ▶ 外気の暖かさ，外気，温かい飲物（喉），湿潤な

気候，冷水浴，食事など

- ◀ 寒さ，冬，非常に乾燥した気候，朝起きるとき，部屋やベッドの暖かさ，満月と新月，肉・じゃがいもなどのデンプン質の食事・塩，性交，喫煙など

#### RELATIONS

- ・ Complimentary : Bryonia, Ferrum phosphoricum
- ・ Antidote to : Lead
- ・ Antidote by : Bryonia, Natrum muriaticum, Chamomilla, Ipecacuanha, Camphora
- ・ Follows well : Bryonia, Lachesis, Sulphur

#### ●主なAluminiumのレメディ

Aluminium oxydata, Aluminium fluoratum, Aluminium lacticum, Aluminium muriaticum, Aluminium metallicum, Aluminium phosphorica, Aluminium sulphuricum, Aluminium silicata, Alumen, Feldspar, Kali sulphuricum chromicum, Kaolinum, Granite, Slag

## Ambra grisea 龍涎香 [音や音楽に非常に敏感]

Ambra grisea

Ambra ambrosiaca, Ambra maritima

#### BACK GROUND

Ambra griseaは，Physeter属マッコウクジラ（Physeter macrocephalus）の腸内，とくに盲腸部にできる結石様分泌物のことです．一般的に龍涎香と呼ばれています．龍涎香（アンバーgris）は，麝香と並び古くから香料中の至宝とされてきました．龍涎香は，マッコウクジラの体内から排出されて静かに海上を漂っていたり，波打ち際に漂着したものが時に発見される，あるいは死んだマッコウクジラが海岸に打ち上げられた場合に採取するといわれますが，非常に高価なものとされています．かつては捕鯨の際，鯨の解体中に採取されていましたが，1987年3月をもって商業捕鯨は禁止されて以来，この方法による採取は困難となりました．

龍涎香は，主に蠟状の塊で，小さなものでは1kgか



ら，巨大なもので100kgと，その重さ，形はさまざまです．そのままでは生臭くてとても芳香とはいえませんが，乾燥させて乳糖を加え，微量をアルコールに浸して燃やすと，溫和で高尚な香りがします．その香りは，抹香というモクレン科のシキミの葉を粉にしてつ

くったお香に似ています。日本語のマッコウクジラの由来は、このクジラから取れる龍涎香の香りが抹香のものに似ているからです。

龍涎香は、病的分泌物とされていますが、その成因は明らかにされていません。龍涎香の中にイカのくちばしやあごの骨など夾雑物があることから、クジラがイカを多食した後、不消化物が胃腸を刺激して生ずるという説があります。

また、雄のマッコウクジラは繁殖期には食物をとらず、したがって、腸の蠕動運動も停滞しているのです。糞が排泄されずに盲腸にたまり、分泌物とともに変化して形成されるのではないかと考えられています。

そして、春先に繁殖期が終わって餌を食べるようになると、たまった糞が一時に排出されるので、海に浮いたり浜辺に打ち上がったりのだろうと考えられます。龍涎香の多くは、アフリカ、インド、日本、スマトラ、ニュージーランド、ブラジルなどの海上で発見されています。捕鯨国日本および旧ソビエトが最大の産地です。天然の精製をしない龍涎香は決してよい匂いとはいえず、長期間海上を漂流した夾雑物のないものが珍重されます。

龍涎香の無光沢な蠟状のかたまりの色には、黄色味を帯びた灰色、灰色、黒色などのものがあります。それぞれ golden, grey, black などの等級がつけられており、灰色、あるいはマッコウクジラの腸内から採取した黒色で軟らかいものは、品質が劣るとされています。他の動物性香料と違い、排泄物臭や刺激臭がありません。長期間海上を浮遊した、黄金色を帯びているものが最高級品とされています。龍涎香の主成分である無臭で非揮発性の白色固体アンブレインは、酸化すると芳香を放ちます。そのため、長期間海上を浮遊したもののほうが、酸化が進んでいるので高品質になります。海上を浮遊しているうちに強い日差しや空気、海水に晒されてゆっくりと性状が変化していきます。英語名の Amber は、アラビア語のアンバーに由来し、その後、この龍涎香に似た琥珀もアンバーと呼ばれるようになりました。

龍涎香は、麝香と並び古くから貴重な香料として香水や高級化粧品に使われてきたほかに、薬効があり、カタルや神経症に効き、刺激剤であり、とくに媚薬として用いられてきました。

龍涎香の主成分はアンブレインですが、これが酸化分解されてできる、アンブロキサンやアンブリノールが香りの本体です。ほかにも、エビコプロステロールや安息香酸、コレステロール、ジヒドロコレステロール、各種ミネラルなどが含まれています。

## FIRST PROVING

ハーネマン (『Materia Medica Pura』第6巻)

## MIND

Ambra grisea タイプは、非常に内気で赤面しやすく、知らない人に会うのを極端に嫌います。気分屋で怒りっぽかったり、ひどく落ち込んだりします。納得のいかないことがあると、いつまでもよくよと考えってしまう傾向があります。非常に神経質で、すぐに動揺してしまいます。マッコウクジラは、音に敏感ですが、このタイプも音や騒音、匂いにとくに敏感で、音楽に対しては異常に過敏に反応してしまいます。音楽を聴くと泣いてしまうことがあります。人が近くにいるときには、排便や排尿することができませんので、団体生活やキャンプなどはたいへんです。精神的な能力は低めで、物事を理解するのに時間がかかり、何度も繰り返して覚える必要があります。よくあれこれ妄想し、忘れっぽく、話題がころころ変わります。仲間といっしょにいるよりも、1人であることのほうが好きです。

## AFFINITY

神経系 (迷走神経、太陽神経叢、脊髄)、循環器系、精神、女性生殖器などに親和性があります。

## CLINICAL APPLICATIONS

Ambra grisea の臨床適用は、主に精神や感情に対する疾患に適用され、次のようなものになります。とくに若齢者や高齢者にはよく使用されます。また、貧血や睡眠不足に加えて過労や高齢などで体力が弱っている場合にもよく反応します。

### ■精神神経系

- ・ **不眠症**：気が高まっていて眠れません。ベッドに入った途端に眠気が消えてしまいます。またわずかな騒音や刺激でも眠れません。とくに音や音楽には非常に敏感です。心配な問題があると、ベッドにじっとしていることもできません。マッコウクジラが深い海に潜っていくように、このタイプも静寂を好みます。
- ・ 不安症、うつ病、ヒステリー：非常におしゃべりになることがあります。また神経質な面があり、他人がいる場所で排便、排尿ができません。入院している場合でも、看護師が補助すると排便できません。
- ・ 自律神経の障害
- ・ 高齢者のめまい
- ・ 初老期痴呆

## ■呼吸器・循環器系

- ・咳：音楽や騒音，会話，重いものを持ち上げること  
で悪化します。おくびの後に咳が出ることもあります  
(Sang)。性交時にも悪化します。神経質になると乾いた発作性の咳が出ます。人前でも症状が悪化  
します。
- ・動悸：胸に何か引っかかっているような，閉塞して  
いるような圧迫感を伴います。
- ・喘息：とくに高齢者と若齢者

## ■消化器系

- ・胃と腹部の膨満：真夜中過ぎに起こります。腹部は  
冷たい感じがします。食後に咳が出たり，食べた物  
が消化されないような感覚があります。ガスもよく  
出ます。牛乳を飲むと胸やけ感があります。

## ■生殖器系

- ・月経間症候群：月経間期の出血。硬い排便をしたり，  
ちょっと長く歩いたりすると悪化します。子宮の症  
状は，横になると悪化します。
- ・外陰部の炎症：痛みと腫れを伴うかゆみがありま  
す。
- ・不正子宮出血
- ・女性の性欲亢進

## ■その他

- ・頭痛：頭の上半分が引き裂かれるように痛みます。
- ・手や指の有痛性痙攣：何かをつかむと悪化します。

このレメディは，IgnatiaやBaryta carbonica，  
Moschusの作用を助けます。また症例によって，さ  
らに深い作用のレメディ（Natrium muriaticumや  
Phosphorusなど）が必要になります。

## MODALITY

- ☒ マッコウクジラのように外気の下でのゆっくりと  
した動き，冷たい飲物など
- ☒ 音，音楽，朝，変わったことを人前で行うこと，  
暖かさ，温かい牛乳，恥ずかしい思いをすること，

心配することなど

## RELATIONS

- ・ Antidoted by : Camphora, Coffea, Nux vomica,  
Pulsatilla, Staphysagria
- ・ Antidote to : Staphysagria, Nux vomica
- ・ Follows well : Moschus

## (参考) マッコウクジラ

マッコウクジラは，ハクジラ類最大のクジラです。性別  
によって体長に大きく差が見られ，雌の体重は雄のほぼ半  
分しかありません。最大のもので，雄は約18m，体重約  
57t，雌は約13mで体重約40tになります。頭部が大きく，  
成熟雄では体長の3分の1に達する個体もあります。

属名Physeterは噴水という意味で，頭部上の左先端の  
噴気孔から高さ5mも吹き上げることに由来しています。  
英名のマッコウクジラの頭部にある乳液状の脳油が精液  
(sperm) に似ていることから，sperm whaleと呼ばれて  
います。この脳油は，音波を発射する際のレンズの役目と，  
浮力を調節する役目を果たしています。

マッコウクジラの分布は，雄と雌の分布が極端に違いま  
す。雄は熱帯から極海まで，広い範囲に分布しますが，雌  
と子供たちは10～40頭の母系集団をつくり，表面水温が  
15℃以上の海域に留まります。成熟した雄は，交尾期にな  
ると低緯度の繁殖海域に戻り，短期間群れに参加します。

マッコウクジラの食性は，イカ類をはじめ，エイ，サメ，  
アンコウ，タラ，メヌケなどがあります。マッコウクジラ  
は常に採食し，1日に体重の3～3.5%の量を食べると推定  
されています。

マッコウクジラは繁殖率が低く，3～5年に1回，15か  
月前後の妊娠期間を経て，体長4m前後の子供を1頭産み  
ます。1.5～3年間授乳します。性成熟は雌で平均7～13歳，  
体長約9m，雄で10～30歳，体長約14m。雄の成長は35  
～60歳まで続くようです。

マッコウクジラはその潜水能力において，クジラ類のな  
かではもっとも深く，長く潜水できるクジラです。水深  
3,200m以上潜れると言われています。1回の潜水時間は20  
～50分，最高1時間半に及ぶこともあります。目は真横し  
か見え，波長0.2～32kHzのクリック音をソナー代わり  
に使用し，聴覚は優れています。

## Ambrosia ブタクサ [花粉症]

Ambrosia artemisiaefolia var. elatior

Ambrosia absinthifolia Michx, Ambrosia elatior L.

## BACK GROUND

Ambrosiaは，北アメリカ原産のキク科ブタクサ属

の1年草であるブタクサです。この植物は，アメリカ  
では古くから枯草熱（hay fever）を起こすことがあ